

平成19年度 梶ヶ谷こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

| | |
|-----------|---|
| (1) 指定管理者 | 財団法人かわさき市民活動センター |
| (2) 指定期間 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 |
| (3) 業務の範囲 | 梶ヶ谷こども文化センターの管理運営に関すること 梶ヶ谷小学校・西梶ヶ谷小学校わくわくプラザの管理運営に関すること |

2 管理運営（事業執行）に対する評価

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 |
|--------------------------|---|--|
| (1) 管理業務の実施状況 | | |
| 施設の運営に関する職員体制に関すること | ①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。 | 職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実により他の管理運営している施設との連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。 |
| 施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること | こども会議・運営協議会・保護者懇談会を定期的実施するほか、地域関連機関の会議にも積極的に出席することで、地域のリアルタイムの情報を収集し、ニーズの拾い出しに努めた。その他、利用者意見箱の設置や利用者アンケートも積極的に実施しました。 | 継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。 |
| サービスの提供に関すること | 利用者にとって総合的な心地よさを演出するために、職員全員が適切で丁寧な対応に努めるとともに、施設の安全管理の徹底を図った。利用者意見箱の設置により、利用者の意見を収集し、ニーズに沿ったルール作りや魅力ある行事の企画運営を実施した。情報サービスとして、施設の最新情報の提供をホームページで行い、利用しやすさの追求を図るとともに、地域の関連機関や町内会へおたより、ポスターを配布し、地域に密着した情報提供に努めた。 | 運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、5つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。 |

| | | |
|-------------------|--|---|
| 事業の実施に関する こと | 運営協議会、地域関連機関等と協同した事業として「おまつり」「バザー」「コンサート」の企画運営を実施したほか、ボランティア講師によるクラブ活動では、「3B体操クラブ」の3B体操大会への出場、「プレイキッズクラブ」のオーストラリアとの交流と、それぞれのクラブの特性をいかした活動を積極的に実施した。野外活動として、高津区こども文化センター合同キャンプの実施。館独自の活動として「おもしろ野外あそび」と名付け、飯盒炊爨・パン作り等を年間を通して実施した。 | 運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後、ボランティアの活用に努めること。 |
| 個人情報の取扱に関する こと | 財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づき、個人情報は施錠できるキャビネットに保管し、処分する際には、シュレッダーにかけるなど取り扱いには十分注意した。また、個人情報の提供を求める際には、他の目的に利用しない旨を利用者に周知した。 | 個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。 |
| 施設の安全管理に関する こと | 安全点検を定例化し、安全管理の徹底を図った。職員の資質の向上を図るため、緊急時の対応等の職員研修を実施した。また、地域の関連機関と連携をとり、最新の情報の共有に努め、防犯対策に積極的に取り組んだ。 | 毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。 |
| (2) 利用状況 | | |
| ①こども文化センター | 延べ利用者数 14,869人 延べ団体利用数 4,049団体 (主な行事等) おたのしみ映画会 梶ヶ谷こ文祭 (特色のある行事) 飯盒炊爨 | 地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |
| ②わくわくプラザ | 1 梶ヶ谷小学校わくわくプラザ 登録者数 359人 延べ利用者数 12,918人 (主な行事等) みんなで遊ぼう 1年生歓迎会 (特色のある行事) 洗足学園コンサート 2 西梶ヶ谷小学校わくわくプラザ 登録者数 359人 延べ利用者数 13,557人 (主な行事等) けん玉検定 七夕飾り (特色のある行事) マンドリンコンサート | 行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。 |

| 評価項目 | 平成19年度管理運営の状況 | 評価及び指導 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|------------|--|--------|----|-------|------------|----|-----|------------|-----|-----------|------|-----------|-------|-----------|--|-------------|---------|--|--------------|--------|--|-------------|---------|--|----|------------|--|----|-----------|--|
| (3) 収支状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 収支状況 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">(単位：円)</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">収入</td> <td style="width: 50%;">指定管理料</td> <td style="text-align: right;">44,580,078</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出</td> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">37,569,335</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td style="text-align: right;">2,733,379</td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td style="text-align: right;">1,937,847</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td style="text-align: right;">1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td style="text-align: right;">909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td style="text-align: right;">40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td style="text-align: right;">636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">45,262,548</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td style="text-align: right;">▲ 682,470</td> </tr> </table> | | | (単位：円) | 収入 | 指定管理料 | 44,580,078 | 支出 | 人件費 | 37,569,335 | 管理費 | 2,733,379 | 事務経費 | 1,937,847 | その他経費 | 1,436,042 | | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | 合計 | 45,262,548 | | 差引 | ▲ 682,470 | 単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。 |
| | | (単位：円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収入 | 指定管理料 | 44,580,078 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支出 | 人件費 | 37,569,335 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 管理費 | 2,733,379 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務経費 | 1,937,847 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他経費 | 1,436,042 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 青少年事業資産取得支出 | 909,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 減価償却引当資産取得支出 | 40,492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第1回精算に伴う返納金 | 636,363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 45,262,548 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 差引 | ▲ 682,470 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。